



## 12月の行事予定

- 1日(水) 発表会リハーサル
- 4日(土) 生活発表会(9:00~)
- 6日(月) 身体測定週 巡回相談①
- 7日(火) 巡回相談②
- 8日(水) 誕生会
- 9日(木) 一日保育士(3歳児以上)
- 10日(金) ふるまい推進研修
- 14日(火) 一日保育士(2歳児以下①)
- 15日(水) 避難訓練(火災)
- 16日(木) 弁当日
- 17日(金) クリスマス会、保育所開放日
- 20日(月) 防災出前講座 集金日
- 23日(木) 避難訓練(地震)
- 24日(金) 一日保育士(2歳児以下②)
- 27日(月) 一日保育士(3歳児以上)
- 29日(水) おあつまり会、布団衣類持ち帰り
- 30日(木) ~1/4(火) 年末年始休み



## 1月の主な行事

- 5日(水) 保育開始



落ち葉が木枯らしに吹かれ、風景は静かに冬支度を始めています。先月は、できるだけ所庭や戸外へ出掛け、秋の身近な自然の中で遊びました。近くの公園へ行き遊具で遊んだり、色づく落ち葉や様々な形のドングリを拾って集めたり、持ち帰った木の実をごちそうに見立てたりして楽しみました。自然の変化や自然事象に興味を持ち、その中で見つけた遊びに「もっとしたい。」「あしたもする。」と満ち足りた気持ちを感じているようでした。

さて、今月の生活発表会では、これまで子ども達が楽しんできたことや取り組んできたことを映像や歌・手遊び・劇などで披露します。

4・5歳児は、劇に使う小道具を友だちと力を合わせて作っています。物語のイメージを膨らませ、完成を目指し頑張っています。

当日は緊張するかもしれませんが、表現する楽しさと観てもらえる嬉しさが感じられる機会となりますよう、皆様のご理解とご協力、そして温かい見守りや拍手をお願いします。

年末には、子ども達と一緒に保育所中をきれいにし、新しい年が気持ちよく迎えられるようにしたいと思います。



## ○保育目標～表現遊びを楽しもう

発表会で使った道具で遊んだり、楽器を鳴らしたりして楽しみます。また、これからの楽しみな行事に向けて、クリスマス飾りや正月飾りを制作し、期待感や満足感を持つことができるようにします。

## 寒さに負けず元気に過ごそう

寒くなってきましたが、子どもたちは所庭でサッカーや鬼ごっこをしたり、デッキに出て遊んだりしています。天気の良い日はこれからも戸外へ出て遊び、体を動かすとだんだんと体が温まる体験ができるようにしたいと思います。

## ○生活目標～手洗い、うがいを丁寧にしよう

手洗いの仕方を見守りながら、手のひらだけでなく指の間や手首など汚れが残りやすい部分の洗い方も知らせていきます。ご家庭でも一緒に洗って確認してみてくださいね。また、うがいは習慣にすることで効果があります。毎日の繰り返しで身につけていきましょう。



## お知らせ・お願い



### ●クリスマス会(17日)

当日は、お気に入りの洋服を着てクリスマス会を楽しみたいと思っています。新しいものを買われる必要はなく、今ある服の中からお子さんとコーディネートを考えてくださいね。

### ●年末年始の保育について

年末は29日(水)まで保育を行い、新年は1月5日(水)から保育を行います。29日(水)に布団・衣類を持ち帰りますので洗濯と記名の点検をしていただき、1月5日(水)にお持ち出してください。よろしくお願いします。

## 令和4年度保育所の入所申込みが始まりました。

継続入所の方は、先般配布しました保育所継続入所の書類を12月13日(月)までに保育所へ提出してください。ごきょうだいの方で新たに入所を希望されるお子さんにつきましては、受付が始まっていますので直接市役所へ申込んでください。

## \*ほっとルーム\*

### ～『違い』『区切り』～

毎年、島根大学 理事 肥後教授を講師にお招きし、指導助言をいただく機会を設けています。自分の保育を他者に見てもらい意見交換をし、そこから保育を見つめ直し保育観を広げ自己研鑽に努めています。今年度は、11月に3歳児『健やかな心の育ちを支える～充実感や喜びを味わえる遊びを通して～』をテーマに公開保育を行いました。学びの一部をご紹介します。

3歳児の育ちで大切なのは『違い』に気づくこと(例、昨日と今日との違い:記憶力が発達する)。また、比較の心理性(例、友だちは持っているのに自分は持っていない:思考力は単純な育ちではなく、このパーツが集まり発達する)も大切。虫の変化に気づくのは違いに気づいているから、そこから自然に魅力を感じるのは当然の育ちである。

遊びの『区切り』は、保育として、子どもが何を学んでいるのかを考える。見える区切り(片付け)と見えない区切り(生活の流れ)がある。心の中に区切りをつける。それが出来るためには手をかけ、教えていくことが社会適応上必要である。保育の本質としては、【一人一人の子どもが今後、社会を生きるために区切りをつける=気持ちの切り替えができる】ように支える、と言える。その子にかかわる保育士や大人の存在が重要である。人の手を借りて子どもは区切っている。3歳児は際立つ年齢、移行の壁であり徐々に出来るようになる。

0歳児から各年齢でそれぞれ行っている保育の意味、その保育から大切なことが育つまでのつながりについて、学びが深まりました。また、手をかける丁寧なかかわりとは、「見守る・待つ・励ます・認める・共感する・言い聞かせる」など、毎日の積み重ねと考えます。小さな心につき合い、向き合いながら、育ちつつある力を支えたいと思います。

### ～保育会職員研修の日の保育時間について～

12月18日(土)の保育は、保育会職員研修のため、18時までとさせていただきます。職員全員参加の研修ですので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

\*ご寄贈ありがとうございました 粉ミルク～保護者様

## 職員出張

- 7日 保育士定着化促進のための研修
- 8日 令和3年度指導的職員研修Ⅱ
- 9日 ※オンライン施設長研修会
- 10日 ※役職別オンライン研修
- 11日 ※食育推進web研修
- 18日 ※保育会職員研修
- 21日 ※市保協同和研修
- 28日 ※発達障がい研修

## ※は午後からの研修

- 岡
- 安食、竹内
- 安食
- 安食
- 小池、岩宮
- 全職員
- 長岡
- 古安他5名